

ITCイースト東京 H20年度活動 ご報告

2009年5月28日
ITCイースト東京

目次

1. H20年度活動方針

2. 分科会1活動

- ・ITC向けセミナー

3. 分科会2活動

- ・組織連携

4. 分科会3活動

- ・IT経営啓発(IT経営力大賞応募支援、すみだITセミナー企画支援)

5. 分科会4活動

- ・IT経営個別企業支援(地域力連携拠点事業連携)

6. まとめ



H 2 0 年度活動方針

目的

- 東京都の東地域にある中堅・中小企業のIT活用型の経営革新を支援する。
- ITコーディネータ活動の東京都の東地域での普及、啓発活動を進める。
- ITCイースト東京会員のスキル向上、事業機会創出の支援を行う。

活動

IT経営(IT活用型経営革新)の普及・啓発

- ・各団体・機関・企業との関係構築
- ・地域の各イベントへの参画
- ・個別相談対応・個別企業支援
- ・啓発活動(セミナー、研修会、表彰イベントなど)

会員のスキルアップ機会、事業機会の提供

- ・学習ポイント取得機会提供
- ・スキルアップ機会提供
- ・会員ITCの事業機会の創出
- ・会員所属企業の事業機会の創出

組織

- **会長** ITCイースト東京を代表し、公的機関、ITCAなどへの公式責任者となる。理事の中から選出する。
- **副会長** 会長を補佐し、会長に事故などがあった場合、会長の代行を行う。理事の中から選出する。
- **運営理事** 総会の意志に基づき、分科会の活動に対する方針、意志決定を行う。
- **推進理事** 分科会のリーダーとして、総会・理事会の意志に基づき、ITCイースト東京の実務活動の推進を行いつつ、分科会の活動に対する方針、意志決定を行う。
- **監事** 会計監査を含めたITCイースト東京の運営・活動に関する監査を行う。
- **事務局** ITCイースト東京の活動を推進するのに必要な補助的活動を行うことで、活動を支援する。
- **総会** 会員全員で構成し、ITCイースト東京の活動方針、予算などを決定する、最高意志決定機関とする。
- **理事会** 総会の意志に基づき、ITCイースト東京の活動主体である分科会の活動を取りまとめ、推進する機関とする。会長、副会長、理事、監事、事務局で構成する。
- **分科会** 同じ思いを持つ、正会員メンバで構成し、ITCイースト東京の実務活動を担う主体とする。
- **正会員** ITCイースト東京の活動に賛同する個人(ITコーディネータ)で構成する。
- **賛助会員** ITCイースト東京の活動に賛同する法人で構成し、ITCイースト東京の活動を支援する。

分科会

分科会1： 会員スキルアップ

ポイント取得機会提供

スキルアップ機会提供

分科会2： 地域機関との連携・強化

各団体・機関・企業との関係作り

地域の各イベントへの参画を通じた関係作り

分科会3： IT経営啓発・普及活動

個別相談・個別企業支援

啓発活動(セミナー、研修会、表彰イベント)

分科会4： 本格的企業支援へのスキーム作り

個別企業支援をビジネスとする会員ITCとの連携

会員所属企業のビジネスとの連携

活動イメージ

東京都東地域 中堅・中小企業

強い企業へ

IT経営成熟度

IT経営
未認識

IT経営
関心

IT経営
気づき

課題抽出
・認識

課題解決

分科会 3

分科会 4

接触
ポスター
ちらし
雑誌
口コミ
HP

セミナー
勉強会
イベント
表彰
交流会

集合

経営戦略策定
研修会
レベルアップ研
修会

集合

ITなんでも相談
成熟度診断
専門家派遣

個別

課題解決支援コ
ンサル
IT投資・導入・活
用支援コンサル

個別

接触

啓蒙・啓発

気づき支援

分析支援

解決支援

IT経営連携スキーム

東京都東地域行政、各支援機関、金融機関、ITベンダー等
(経済産業省、関東IT経営応援隊、ITC協会など)

分科会 2

分科会 1

ITCイースト東京

活動方針：「IT経営啓発から、IT経営成功企業を輩出するまでの、一連の地域企業支援を、活動体制を強化し、軌道に乗せる」

4つの専門的役割分担（分科会）という形で、活動体制を強化し、その連携を図ることで、東京都東地域の中堅・中小企業の経営基盤強化を支援し、地域の産業振興に貢献し、また会員の事業機会を創出する。

活動テーマ

東京都東地域の諸団体との連携を密にすることで、効果的な支援体制、支援サービスを、地域企業に提供できる基盤作りを行う（分科会2）。

より多くの中堅・中小企業の経営革新を推進し、経営基盤強化を支援する（分科会3、4）。

個々の会員のスキルを向上を図り、地域企業の経営革新、IT化支援など、可能なITCリソース・要員を確保・強化する（分科会1）。

活動施策

効果的な支援体制、支援サービスの確立のため、以下のような連携を図る。

- ・既に連携している東京都東地域の行政機関との協働、連携をより高める。
- ・既に連携している金融機関や諸団体との協働、連携をより高める。
- ・新たな地域諸団体の連携を図る。

連携機関と密に動き、以下のようなIT経営の啓発施策を広く展開する。

・IT経営セミナー、IT経営研修、個別企業相談、表彰イベント活用など。
企業支援可能な要員をより多く確保するため、会員スキルアップを図る。

- ・会員勉強会、事例研究、企業研究などを行う。



2 . 分科会 1 活動

I T C 向けセミナー

ITC向けセミナー実施実績

第1回 平成20年5月19日(月)13時30分～17時30分

開催場所:NECソフト(株) 本社ビル N1101会議室

公演内容:

1.経済産業省における情報政策の取り組みについて(13:35～14:35)

講師 経済産業省 千葉 雅幸 氏

2.すみだ型産学関連事業の歩み(14:35～15:35)

講師 すみだ中小企業センター 吉川 栄一 氏

3.経営力強化に直結するIT経営課の推進(15:45～16:45)

講師 ITC協会 関 隆明 氏

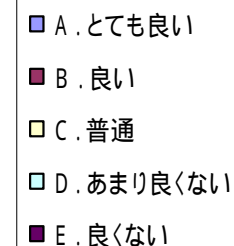
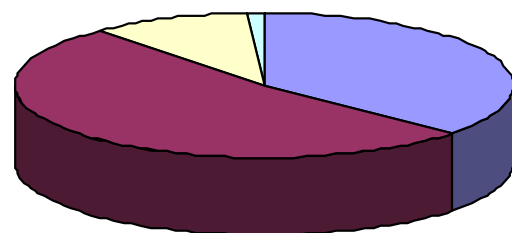
4.ITCイースト東京活動報告 (16:45～17:20)

講師 ITCイースト東京 睦好 正治 氏

集客数:113名(会員:96名、非会員:7名、その他:10名)

アンケート結果(有効回答:88人)

とても良い	:32人
良い	:46人
普通	:9人
あまり良くない	:1人
良くない	:0人



ITC向けセミナー実施実績

第2回 平成20年10月20日(月)12時30分～16時30分

開催場所:豊洲文化センター

公演内容:

1.技術者の企画提案及びプレゼンテーション(12:30～14:30)

= 技術者の苦手な企画・提案・プレゼンテーションのポイント =

講師 (株)ヒロ・マネジメント 田中 浩 氏

2.B S C 上級編(14:30～16:30)

= 日本におけるバランススコアカード研究の第一人者が語る =

講師 法政大学大学院教授 吉川 武男 氏

集客数:108名(会員:88名、非会員:17名、その他:3名)

アンケート結果(有効回答:80人)

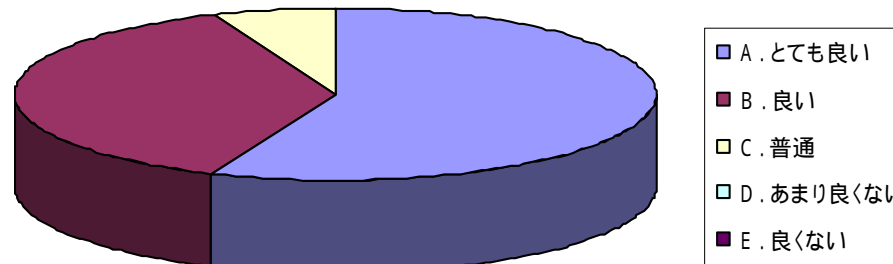
とても良い :45人

良い :30人

普通 :5人

あまり良くない:0人

良くない :0人



ITC向けセミナー実施実績

第3回 平成21年2月2日(月)15時00分～19時00分

開催場所:豊洲文化センター

公演内容:

1.B A B O K 概要(15:05～16:20)

講師 NECソフト(株) 斎藤 尚志 氏

2.2009年人材開発白書(16:30～17:30)

講師 (株)富士ゼロックス総合研究所 森田 幸雄 氏

3.言葉ひとつで男があがる(17:40～18:55)

講師 東京学芸大学客員教授 小俣 雅子 氏

集客数:132名(会員:88名、非会員:38名、その他:6名)

アンケート結果(有効回答:107人)

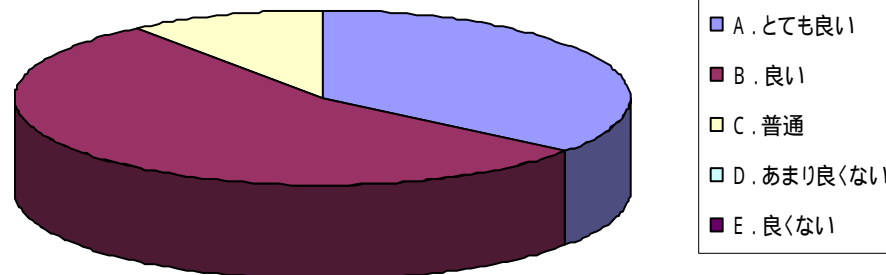
とても良い :38人

良い :58人

普通 :11人

あまり良くない:0

良くない :0



分科会1 - ミッションの成果(自己評価)と今後への課題

成果

Mission1.ポイント取得機会提供

1. 実施セミナー(3回)における参加者と提供ポイント数
ITC: 334名(会員:272名、非会員:62名)、その他:19名
ITCへ334ポイント(会員:272ポイント)を提供
2. 会員へのポイント
年度開始(2008/3)時点で会員数: 約290名(2009/5: 323名)
272ポイント/290名 会員1人当たり0.94ポイントを提供

Mission2.スキルアップ機会提供

テクニカルスキル、ヒューマンスキルについてスキルバランスを考慮しセミナーを実施。アンケートから受講者の評価もよいことがわかる。

- ・テクニカルスキル系: BSC上級編(第2回)、BABOK概要(第3回)他
- ・ヒューマンスキル系: 技術者の企画及びプレゼンテーション(第2回)、言葉一つで男が上がる(第3回)他

今後への課題

1. 分科会メンバーの一部のヒトに大きな負荷が掛かかる。
2. 分科会体制の狙いと違い、やらされ感がある。



3 . 分科会 2 活動

組織連携

連携機関(ひがしん殿)とその連携スキーム

1. 東京東信用金庫(ひがしん)殿

(1) 地域力連携拠点事業のパートナーとして

- ・経済産業省の支援施策で、地域の中小企業支援機関を、「地域力連携拠点」として整備し、地域中小企業の経営課題を、ワンストップで解決を図る経営支援サービス(ITを活用した経営管理、知的資産経営、経営革新、技術相談、事業継承等)であり、3ヵ年事業で、2008年度が初年度。
- ・この事業に、東京東信用金庫(ひがしん)殿が、「首都圏東部地区地域力連携拠点」として採択され、IT経営相談の分野に関して、ITCイースト東京がパートナーとして、ひがしん殿よりお声が掛かった。
技術相談は、東京海洋大学・芝浦工業大学、経営革新は経営コンサルなど、各方面の専門家、団体で拠点を構成し、H21年度も活動を継続している。

ひがしん殿との連携スキームへの対応状況

(2) 首都圏東部地区「地域力連携拠点」事業 会議体出席状況

活動	時期	出席者
開所式	2008.5.30	池島会長 岡野理事
拠点コーディネーター会議	2008.7.17	岡野理事、清水理事、 斉藤理事
事務局会議	2008.9.25	岡野理事
	2008.10.6	岡野理事
	2008.10.21	岡野理事、清水理事
	2008.11.13	岡野理事、清水理事
	2008.11.27	清水理事
	2008.12.16	岡野理事、清水理事
	2009.1.28	岡野理事、清水理事
	2009.2.10	岡野理事、清水理事
	2009.2.24	岡野理事、清水理事
	2009.3.10	岡野理事、清水理事
	2009.3.24	岡野理事、清水理事

ひがしん殿との連携スキームへの対応状況

(3) 首都圏東部地区「地域力連携拠点」事業 ITセミナー対応状況

活動	時期	出席者
「ITセミナー企画」 打ち合わせ	2008.9.19	岡野理事、斉藤理事 睦好理事、清水理事
	2008.10.2	岡野理事、斉藤理事 睦好理事、清水理事
	2008.11.18	斉藤理事
ITセミナー開催 テーマ：「IT経営の“気づき”の提供ができるコーディネータになるために」	2008.12.5	講師 斉藤理事 オブザーバ 清水理事、 睦好理事

連携機関(すみだ中小企業センター殿)との連携スキームと対応状況

2. 墨田区 すみだ中小企業センター殿

(1) 2008年度IT化推進事業(ITセミナー)の支援その1

集客力の高いITセミナーの企画・運営の支援依頼への対応

活動	時期	出席者
「第1回ITセミナー」企画 打ち合わせ	2008.6.3	岡野理事
	2008.7.8	岡野理事、斉藤理事 廣木理事
	2008.7.30	岡野理事、斉藤理事 廣木理事
	2008.8.18	岡野理事、斉藤理事 廣木理事
	2008.9.24	岡野理事、斉藤理事 廣木理事
	2008.10.15	岡野理事、睦好理事
第1回ITセミナー開催 テーマ:「ホームページ活用のツボ～作り 方から運用法まで～」	2008.12.2	講師 睦好理事 オブザーバ 岡野理事、 清水理事

すみだ中小企業センター殿との連携スキームとその対応状況

(2) 2008年度IT化推進事業(ITセミナー)の支援その2 集客力の高いITセミナーの企画・運営の支援依頼への対応

活動	時期	出席者
「第2回ITセミナー企画」 打ち合わせ	2009.2.4	岡野理事、廣木理事 睦好理事
第2回ITセミナー開催 テーマ:「ホームページ活用のツボ ~こ こまでできるSEO~」	2009.3.23	講師 廣木理事 オブザーバ 岡野理事、 清水理事、睦好理事

その他連携機関との連携スキームと対応状況

3. 江東区殿、荒川区殿、ITC協会殿の主催会議体への出席状況

機関名	活動	時期	出席者
江東区 区民部経済課殿	中小企業活性化協議会	2008.5.19	横山副会長
		2008.10.28	岡野理事
		2009.2.6	池島会長
	産学公連携連絡会	2008.5.19	横山副会長
荒川区 産業経済部地域 支援課殿	ITCイースト東京のご紹介	2008.6.30	岡野理事 廣木理事
ITC協会殿	ITCA全国コミュニティ大会	2008.5.22	岡野理事
		2008.12.12	清水理事
	第2回金融ワークショップ(オブ ザーブ出席)	2009.2.16	清水理事 廣木理事

分科会2 - ミッションの成果(自己評価)と今後への課題

(1) 成果

ひがしん(東京東信用金庫)殿、および墨田区すみだ中小企業センター殿と、H19年度までに築きあげてきた関係が、H20年度に、具体的な事業支援のパートナーとして、お声が掛かる形での成果となり現れた。

また、同様の機関と、H20年度に具体的な事業支援を通し、その対応状況・結果をふまえ、さらに関係強化が図れ、H21年度につながっている。

江東区殿、荒川区殿、ITC協会殿の主催会議体への参画や個別訪問を通し、継続、関係を維持できている。

(2) 今後への課題

地域企業のIT経営サポートにおいて、手段の提供であるIT導入の部分を含めたスキーム作りを、H20年度にも一部実施してきたが、地域企業に対して具体的なITの提供が可能なIT企業との関係作りは、H21年度も重要な課題である。



4 . 分科会 3 活動

I T 経営の啓発・普及活動

分科会3 - 平成20年度活動方針

「連携機関向けセミナー」

「中小企業IT経営力大賞」

の2点を中心に実施

分科会3 - 「連携機関向けセミナー」

1. すみだ中小企業センター

セミナー企画段階からの依頼

センターさんからの要望、「集客が課題、前年度は1桁台。
どうすれば人が集まるセミナーになるか企画から提案いただきたい。」

企画段階からセミナー企画から実施まで協力した。

成果：会場の定員一杯の2桁台の集客ができた
「ホームページのツボ」(08/12:睦好)-参加者30名
「SEOのツボ」(09/02:廣木)-参加者25名

2. 東京東信用金庫

地域力連携拠点事業セミナー (08/12 斎藤)

「IT経営の“気づき”の提供ができるコーディネータになるために」
対象者：東京東信用金庫様の部長クラス。参加、約80名

分科会3 - 「中小企業IT経営力大賞」(概要)

・中小企業IT経営力大賞2009の概要

●中小企業IT経営力大賞とは

「中小企業IT経営力大賞」とは、経済産業省が関係機関の共催・協力のもとに主催する平成19年度に創設された表彰制度。優れたIT経営を実現し、かつ他の中小企業がIT経営に取り組む際の参考となるような中小企業や組織に贈られる。受賞企業およびIT経営実践認定企業・組織にはロゴマークの使用が認められる。



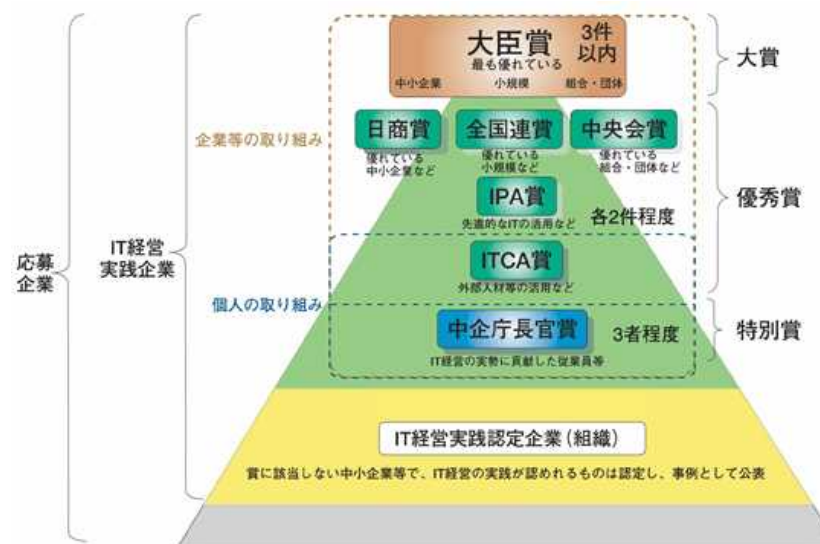
応募・受賞の状況

2009の応募は、全国276件。
入賞(大賞～特別賞)は22件。
IT経営実践認定企業は134件。

詳細は、

<http://www.itouentai.jp/award/>

を参照のこと



分科会3 - 「中小企業IT経営力大賞」(本会ITCとの関わり)

・本会が関わる意義

応募書類の作成支援を通じ、地域の優れたIT経営を実践する企業の発掘

応募企業の発掘

連携機関(東京東信用金庫、すみだ中小企業センター)に紹介を依頼。 3社

昨年応募書類作成支援を行った企業への応募を依頼。 0社

成果 2社 IT経営実践認定企業

・梶フェルト工業(株) 工業用フェルト製造業(墨田区・<http://www.kajifelt.co.jp/>)

- すみだ中小企業センター からのご紹介 - 応募書類作成支援:廣木ITC

・(株)サンメディア 広告代理店(中央区・<http://www.sunmedia-tokyo.co.jp/>)

- 東京東信用金庫 両国支店 からのご紹介 - 応募書類作成支援:睦好ITC

協力依頼

・今年度も「中小企業IT経営力大賞2010」が実施予定
会員各位のご協力をお願いします

分科会3 - ミッションの成果(自己評価)と今後への課題

IT経営（IT活用型経営革新）の普及・啓発

・個別相談対応・個別企業支援

地域力連携拠点事業の対応として実施（実施件数等は、分科会4の報告を参照のこと）

地域力連携拠点事業の中ではIT相談の割合が少ない。

お客様のIT経営の認知度を継続的に高めIT相談の引合を増やすことが課題。

・啓発活動（セミナー、研修会、表彰イベントなど）

・墨田区中小企業支援センター セミナー企画

講演タイトルのネーミングやチラシ作成など、センター様自身もPR能力を持っており、本会は方向性とセミナー実施を主に似なうだけで、集客面の要望に応えることができた。

聴講者のレベル感が掴めてなく、やや易しめの講義になってしまった。

・東京東信用金庫様（地域力連携拠点事業の応援コーディネーター向け）

「IT経営の“気づき”の提供ができるコーディネータになるために」を企画、提案。理由は、IT相談が少ない事の要因の一つにIT経営の必要性を応援コーディネータが説明できないこともあると仮説。必要性の認識は持って頂き、好評であった。しかし、現状では数を追いかける状況であり、質を追求するにはまだ、時期早急の感。継続的に支援していきたい。

（ひがしんオーロラ会向けセミナーは、諸般の事情により本年は実施せず）

・中小企業IT経営力大賞

・前年度は、本会が主催の『じょうとうIT経営大賞』の代わるものとして中小企業IT経営力大賞の応募支援を実施したが、中小企業IT経営力大賞は毎年実施(予定)のため『じょうとうIT経営大賞』の復活の余地が小さくなった。

・本年は、8月1日募集開始となった。応募対象の中小企業だけでなく、事務局や連携機関の担当者が夏期休暇の時期に入り、実質的な活動日数に制約があり、8月下旬の応募書類作成支援申込み〆切りまで、各機関や企業との調整が非常にとりづらかった。応募企業は3件と、去年の6件から半減してしまった。大賞事務局より事前の情報を入手し、7月頃から早目に行動が必要。



5 . 分科会 4 活動

I T 経営個別企業支援

IT経営個別企業支援について

(1) IT案件の対応状況

2008年度は年間で19件対応した。

(取りまとめは岡野、個別対応は清水、好澤、睦好、廣木で対応)

なお、地域力連携事業全体の件数は約150件強

年月	対応件数
2008年8月	0
2008年9月	0
2008年10月	1
2008年11月	1
2008年12月	0
2009年1月	2
2009年2月	5
2009年3月	10
計	19

IT経営個別企業支援について

(2) 具体的相談内容について

相談内容	件数
販売促進のため初めてホームページを作る	6
販路拡大のためホームページのリニューアル	4
ホームページについて知識がほしい	1
ホームページによる販路拡大とIT環境の改善	1
セキュリティ対策	2
顧客管理・請求入金管理の改善	2
新規顧客の開拓	1
携帯新事業の拡販	1
NPOの設立とIT投資	1
計	19

IT経営個別企業支援について

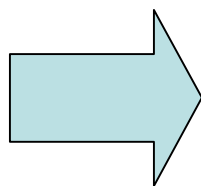
(2) 具体的相談内容について(続き)

例 初めてホームページを作る

リーマンショック以前はあまり必要性を感じていなかった。
(いままでは仕事があったが今は減少した。)

環境変化により考える時間が出来た。

売上げ減少
利益減少



販路拡大(新顧客)

売上げアップ

ITは初めて、ITに強くない
が、IT活用を考えてみる
ようになった。

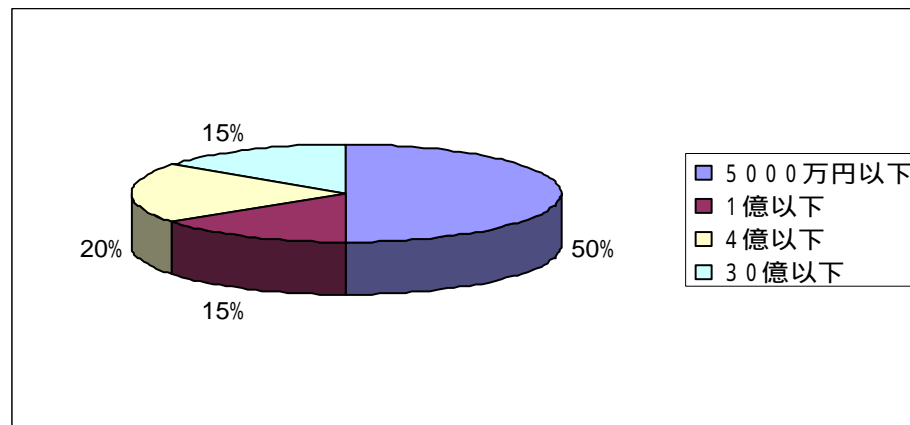
ホームページ開設のお手伝いをしています。

IT経営個別企業支援について

(3) 企業プロフィール

売上高別企業数

売上高	企業数
5000万円以下	9
1億円以下	2
4億円以下	5
30億円以下	2

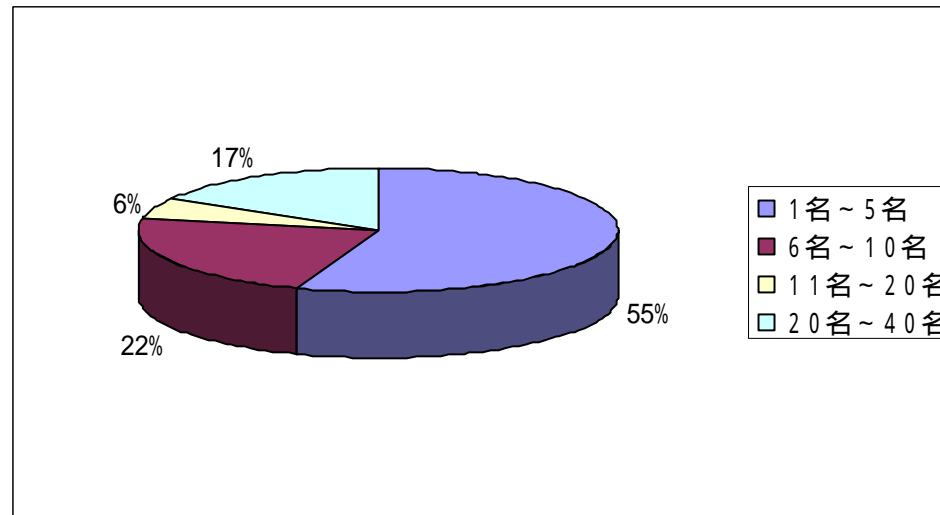


IT経営個別企業支援について

(3) 企業プロフィール

従業員数

従業員数	企業数
1名～5名	10
6名～10名	4
11名～20名	1
20名～40名	3



業種

製造 小売 卸等

分科会4活動

1. 分科会は7回開催され、後半の4回は合同分科会として開催した。(メンバーは8名)
2. 地域力連携事業については意見を交わしながら進めた。
3. ホームページに関して地域で連携できそうな企業より説明を受けた。(実績2社)
4. ITC A作成「ITコーディネータ実務ガイド第1版」の査読に協力した。

分科会4 - ミッションの成果(自己評価)と今後の対応

1. 会員(会員所属企業)の事業機会の創出

成果

地域力連携事業に参画し、個別企業のIT相談のアドバイスを行う中で、会員の事業機会が創出された。また中小企業IT経営力大賞の応募支援を行い、応募企業のIT相談の顧問になった会員もいる。会員所属企業の事業機会の創出は達成されず、次年度の課題となった。

今後の課題

会員所属企業の事業機会の創出については、担当者を決めて、積極的に検討する。今年度は地域力連携企業が2年目に入り、IT相談も増加する予定なので、対応する会員の増加も必要となる。IT相談もアドバイスのレベルで終わっており、目的が達成されたか否かをチェックする体制が無い。相談企業が目的を達成出来るまでサポートする仕組みも必要である。地域力連携事業以外にも新たな事業機会創出のチャンスがあれば、積極的に提案・参加する。

2. 本格的企業支援へのスキーム作り

成果

地域力連携事業に対しては独立系会員4名でスムーズに対応できた。企業支援のパートナー企業を検討する中で、ホームページを簡単に構築できるツールを持つ会社の提案説明を受け、IT相談の中で活用した。会員所属企業のビジネスとの連携は、次年度の課題となった。

今後の課題

会員所属企業のビジネスとの連携は、担当者を決めて積極的に検討する。地域力連携事業の推進、新たな事業の検討提案をするために、対応する会員を増やす必要がある。今年度のIT相談ではアドバイスが大半で、例えばRFP作成、システム構築等は無く、次年度はRFP、システム構築を想定し、連携できるパートナー企業を積極的に開拓していく。

6 . まとめ

最後に

< 成果 >

- ・ H20年度からの分科会形式での実動体制構築により、実質活動メンバが増
- ・ ひがしん殿、墨田区殿の具体的な事業への支援実績を輩出
- ・ H19年度に続き、H20年度も、IT経営力大賞を通し、活動地域に所在するIT経営実践先行中小企業を発掘(3社)
- ・ ITC向けセミナーを通し、会員ITCのみならず、非会員ITCにとっても有効な知識・情報習得の場の維持(非会員ITC受講者数増)
- ・ ITCイースト東京会員が継続増加傾向

< 課題 >

- ・ 会員ITCの継続学習の場の維持とさらなる質の向上
- ・ 会員ITCの具体的な企業支援による経営革新事例の輩出
- ・ 関係機関と連携した地域企業へのIT経営啓発活動の拡大と、対応できる実質的活動メンバの拡大